



QCサークル関東支部埼玉地区

第6549回 小集団改善活動発表大会

2024年度 スローガン

QCサークル活動（小集団改善活動）を通じて、「元気な埼玉」を取り戻そう！

主催：QCサークル関東支部埼玉地区

後援：（一財）日本科学技術連盟

（一社）埼玉県経営者協会

参加のおすすめ

QCサークル活動（小集団改善活動）は、第一線の職場で働く仲間による継続的な管理・改善活動であると同時に職場を明るくし、個の成長を育むものです。

参加者のメリットとしては、

1. 他社のQCサークル活動（小集団改善活動）事例を聴講することができます！
他業種の改善活動が、様々な観点において参考となります。
2. 他社事例の聴講により、自社のレベルの確認ができます！
自社サークルの強み・弱みが把握できます。
3. 自社と違った活動のやり方や、ツール等を知ることができます！
気づきを持って帰って頂き、自社の活動に反映することで、サークルやご自身のレベルアップが図れます。

開催概要

☆開催日：2024年7月5日(金)

☆時間：10:30～16:06

受付：10:10～10:30

☆会場：さいたま市文化センター（小ホール）

☆申込：別紙【参加申込書】にて申し込みください。

☆申込締切：6月21日（金）

☆参加費：幹事会社 4,500円/1名（要旨集・昼食・消費税含む）
一般（会員）5,500円/1名（要旨集・昼食・消費税含む）

☆プログラム

- 10:10 ～ 10:30 受付
- 10:30 ～ 10:33 オリエンテーション
- 10:33 ～ 10:36 開会挨拶
- 10:36 ～ 10:39 講師・審査表彰委員紹介
- 10:39 ～ 11:42 改善事例発表3件
- 11:42 ～ 12:42 昼食休憩
- 12:42 ～ 13:24 改善事例発表2件
- 13:24 ～ 13:34 休憩
- 13:34 ～ 14:16 改善事例発表2件
- 14:16 ～ 14:26 休憩
- 14:26 ～ 15:26 特別講演
- 15:26 ～ 15:36 休憩
- 15:36 ～ 15:41 来賓挨拶
- 15:41 ～ 15:46 審査結果発表
- 15:46 ～ 16:01 表彰式 賞状授与
- 16:01 ～ 16:06 閉会挨拶

特別講演

テーマ：QC手法を正しく理解して上手に使おう！

【講演内容】

私たちが問題解決するとき、QC手法は強い武器になります。しかし、間違った使い方をする、判断を誤る事もあります。道具としてのメリット/デメリットを正しく理解して、手法使いの達人になるコツを一緒に考えてみましょう。

【講師経歴】

株式会社安川電機 入間事業所 モーションコントロール事業部 生産技術部

2018年QCサークル推進石川馨賞受賞

2024年QCサークル埼玉地区 相談役

同 QCサークル上級指導士、本部認定指導員



講師：山内 高

発表サークル みどころ・きまどころ

目指せ！
埼玉県経営者協会賞

| 会社・事業所名 | サークル名 | テーマ名 |
|---|---------|---|
| グローリー株式会社 | コウバイITS | 海外発送（輸出）における通関資料作成の工数削減 |
| 購買部門の部材調達において、海外発送が当たり前になりました。そんな中、退職される前任者から海外発送（輸出）に必要な通関資料作成を引き継ぐことに。複雑なやり方になっているため、業務内容を習得するのに非常に難航しました。“個人商店業務化”しないよう、誰がやってもできる業務にできるよう、活動しました。 | | |
| 太陽インキ製造株式会社 | 鶏唐みぞれ煮 | 緊急出荷連絡時間の半減 |
| 【緊急出荷】とは、検査合格を待たずに入庫させるといふイレギュラーな処理です。長年同じ依頼方法を行っている一方で次工程の急ぎ要請に合わせて個々が過重対応するようになりました。一日一回の依頼で関係者全員がスムーズに処理が進められるよう、部門を超えて皆がラクになる方法を考えるべく改善活動に努めました。 | | |
| UDトラックス株式会社 | Export | ステアリングホイール梱包作業における作業性の向上 |
| 私達のサークルは、海外拠点に部品供給する作業のロスや輸送費の削減の為、メンバー丸となり高い目標にチャレンジすると共に、メンバー全員のQC手法習得にも繋げる事ができました。グループの垣根を超え、コミュニケーションの中から得た発想からメンバー全員で協力し、目標達成に辿り着いた取り組みをお聞きください。 | | |
| コーセイイングストリーズ株式会社 | 菜の花&絆合同 | 手作業ラインから自動化ライン乗せ換えによるトラブルの未然防止 ～憧れるのはやめましょう 今日をこえるために～ |
| 爆発的ヒットとなった美容液の生産量アップをねらい、手作業ラインから自動化ラインに乗せ換える時に発生するトラブルの未然防止に努めた事例です。ライン作業者の菜の花サークルと設備担当の絆サークルがタッグを組み、大きな成果に結び付けることができました。 | | |
| シチズン時計マニファクチャリング株式会社 | Aチーム | Cal.82一番受体 3台プレス生産性向上 |
| トライ&エラーを繰り返し問題に取り組みました。狭い工場の中、一度は断念した問題に再度取り組み、長年の課題をクリア！不良姿勢改善にも繋がりました。若手社員はQC初心者でしたが、サークル活動でQC手法を多く作成し、勉強の機会を増やすことで力量アップ、チームワークもアップしました。 | | |
| 太陽インキ製造株式会社 | 渋谷JAPAN | 自動供給化による作業負荷低減 |
| 私たちの職場で使用しているビーズミルの中に1台だけ手でインキを供給をしているものがあります。作業を観察すると、焦って作業をしており不安全な状態でした。また、属人化されているため他に頼める人がいません。この問題を解消する為にチーム丸となり取り組みました。 | | |
| コニカミノルタテクノロジクス株式会社 | ima人 | 超音波診断装置 出荷準備工程における移動ロス削減 |
| 私たちは今年新入社員を加えた8名で医療機器である『超音波診断装置』の生産を行っています。今回のテーマは工数削減の上位方針に対し、更なるチャレンジ目標を設定し活動しました。出荷準備工程内のロスを分析、削減する事で目標を達成。若手メンバーリーダーを担当した事で、人材育成につながる活動ができました！ | | |